

## 平成26年度（保健体育）授業改善推進プラン

	指導方法の課題	具体的な授業改善策	補充・発展指導計画
1 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基本的な知識・技能の習得</li> <li>…基本的な知識・技能の習得が難しい生徒の指導</li> <li>・ 授業規律の確立</li> <li>…基礎・基本を身に付けさせるために、授業規律を確立させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生徒の実態により、課題を掘り下げた内容を取り入れる。</li> <li>できない生徒に対しては、その生徒に即した課題を与え、対応する。</li> <li>・ 集合、聞く時の姿勢などの集団行動が日々の生活に繋がることを伝えていく。授業規律の確立で、基礎・基本の定着を確実に行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 授業の始まりに行う補強運動を毎回行い、基礎体力の向上を図る。</li> <li>・ 生徒の課題に応じた指導を行う。または、課題を自分で発見できるよう必要に応じ助言を与える。</li> </ul>
2 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ わかりやすい授業</li> <li>…授業評価の分析結果より、資料などの提示、次の授業の事前指示が徹底されていない意見がみられる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 用具準備・片付けを全員で協力して行わせる。集合・整列・体操・移動を機敏に行い、メリハリのある授業を展開していく。授業での集団行動が日々の生活に繋がることを伝えていく。</li> <li>・ 授業時の説明や内容をわかりやすく伝えられるように教材研究を十分に行う。まとめの時間を確保し、次の時間の説明を行うことで、見通しを立てさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 既に課題を克服している生徒に関しては、1段階上の課題を与え意欲を高める。</li> </ul>
3 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生徒の発言や質問をきちんと受け止められていない</li> <li>…授業評価の分析結果より</li> <li>・ 学習のルールの徹底と強化</li> <li>…授業評価の分析結果より</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 集合して説明する時間を利用し、つまづいていることやわからないことの確認、生徒のつぶやきにしっかり耳を傾けるようにする。</li> <li>・ 授業に安全に意欲的に取り組ませるためにも、授業準備、具体的な指示、わかりやすい説明を実践する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 運動の技能を系統的に把握させるとともに、課題を解決するための効果的な方法を工夫させる取り組みを行う。</li> <li>・ チームの中でそれぞれの能力をどのように生かし、チームとして機能させるか考えさせる視点をもたせる。</li> </ul>